

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2012年9月28日設定)
運用方針	主にフィリピンの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J」の投資証券(米ドル建て)およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎年3月7日および9月7日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

## 運用報告書(全体版)

# イーストスプリング・ フィリピン株式オープン

第15期(決算日 2020年3月9日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス: <https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
11期 (2018年3月7日)	円 9,241	円 0	% △ 1.8	% 97.6	百万円 2,450
12期 (2018年9月7日)	8,529	0	△ 7.7	95.9	2,314
13期 (2019年3月7日)	9,085	0	6.5	96.1	2,312
14期 (2019年9月9日)	8,908	0	△ 1.9	97.0	2,264
15期 (2020年3月9日)	7,331	0	△17.7	96.7	1,688

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 当期中の基準価額等の推移

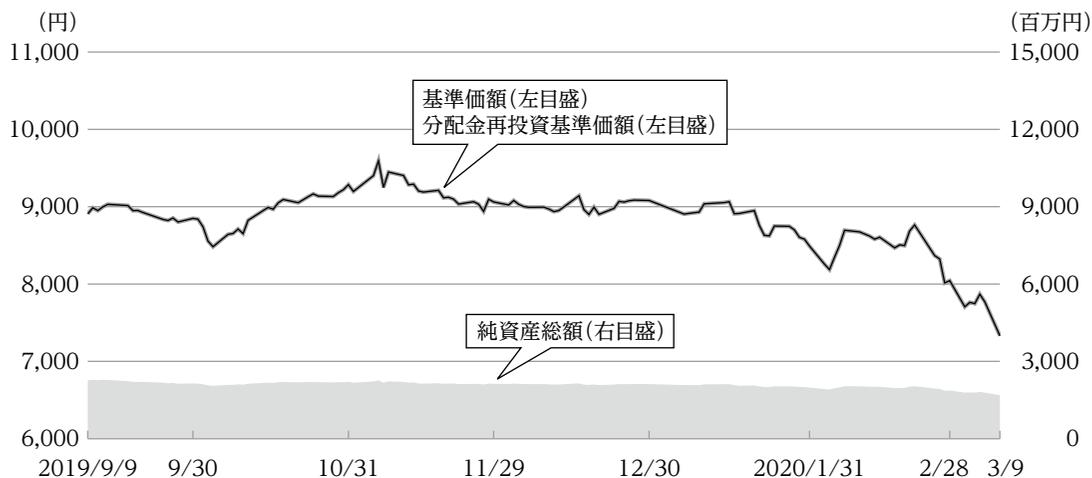
年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
(期首) 2019年9月9日	円 8,908	% -	% 97.0
9月末	8,849	△ 0.7	96.4
10月末	9,285	4.2	98.5
11月末	9,061	1.7	97.1
12月末	9,080	1.9	95.3
2020年1月末	8,493	△ 4.7	96.7
2月末	8,045	△ 9.7	97.9
(期末) 2020年3月9日	7,331	△17.7	96.7

(注) 騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2019年9月10日～2020年3月9日)



第15期首	8,908円
第15期末	7,331円 (既払分配金0円)
騰落率	-17.7% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因

- ・投資対象ファンドを通じて保有する株式が下落したこと。
- ・フィリピンペソが対円で下落したこと。

### フィリピン株式市場

当期のフィリピン株式市場は下落しました。

期初は世界的な景気減速懸念から下落しましたが、その後はフィリピン中央銀行の金融緩和期待などを背景に2019年11月上旬にかけて反発しました。11月中旬以降は米中貿易摩擦への懸念から利益確定売りが進みました。2020年1月には首都マニラの南方に位置するタール山の噴火活動が活発化したことを受けて今後の経済活動への影響が懸念されたほか、ドゥテルテ大統領が一部のインフラ事業の契約内容を精査すると発言したことが関連企業の株価の重石となり、株式市場は軟調となりました。その後は中国で発生した新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による影響から株式市場は一段安となり、下落基調で期末を迎えました。

### 為替市場

フィリピンペソは期初から2019年10月末にかけて米中貿易交渉進展への期待などを背景に対米ドルで上昇しました。その後は米中貿易交渉の先行きを見極めたいとの見方などから年末まで一進一退の動きが続きました。年明け以降も狭いレンジでの推移となり、通期ではフィリピンペソは対米ドルで上昇しました。

一方、対円でも期初から堅調な展開が続きましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感が強まり2020年2月下旬以降、円が対米ドルで大きく上昇したため、通期ではフィリピンペソは対円で下落しました。

### 国内債券市場

米国の利下げ観測が後退する中で、日銀の黒田総裁が行き過ぎた超長期金利の低下に警戒感を示したことや、日銀の国債買入れオペ減額観測などを受けて、日本国債の利回りは2020年1月中旬にかけて上昇（価格は下落）しました。しかし、その後は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な景気減速懸念や好調な国債入札などを背景に、期末にかけて利回りは低下しました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ（以下「フィリピン・エクイティ」といいます。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### フィリピン・エクイティ

フィリピン株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。

当期はドゥテルテ大統領が一部のインフラ事業の契約内容を精査すると発言したことから下落した持株会社Ayala Corp、たばこ税の引上げによる業績への悪影響が懸念された持株会社LT Groupなどの保有がマイナス要因となりました。

### イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第15期	
	2019年9月10日 ~2020年3月9日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,410

（注1）「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）—印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるフィリピン・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

### フィリピン・エクイティ

新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大する中、フィリピンではマニラ首都圏の封鎖や感染発生国からの入国制限など感染拡大の抑制に向けた対策を行っています。今後の感染状況次第では国内の企業活動や消費者心理に悪影響を与える可能性があるため、状況を注視してまいります。

一方で、フィリピンは中長期的にアジア域内で相対的に高い経済成長が期待できるとの見方に変更はなく、ドゥテルテ政権が進める

外資規制の緩和やインフラ整備などの政策により更なる投資の拡大が期待され、経済成長をけん引するものと見られます。今後も投資環境の変化に対する市場の反応などに留意しつつ、下落局面では割安となった財務体質の強い優良銘柄に選別投資を行う方針です。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

# 1 万口当たりの費用明細

(2019年9月10日～2020年3月9日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	60円	0.684%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、8,802円です。
(投信会社)	(23)	(0.263)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(36)	(0.410)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	5	0.052	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 2)	(0.025)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 2)	(0.027)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	65	0.736	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

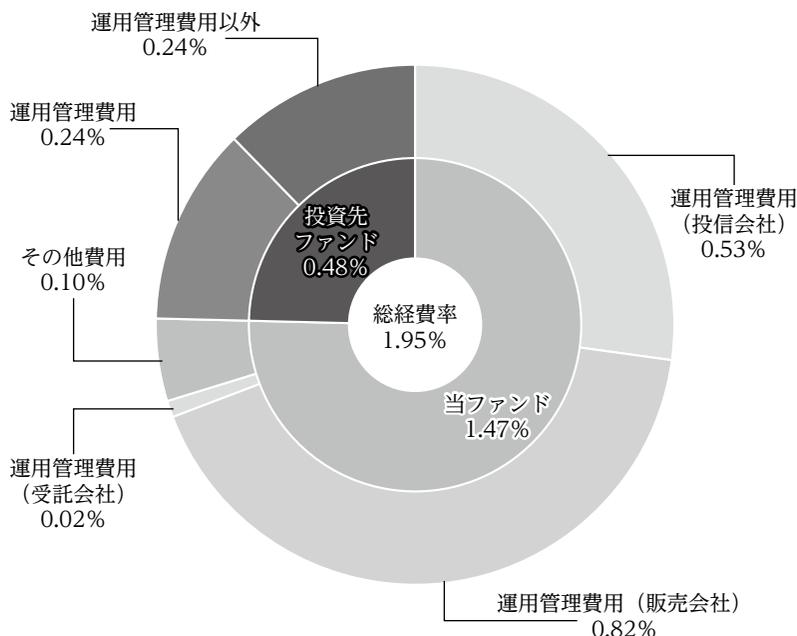
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95%です。



総経費率 (①+②+③)	1.95%
①当ファンドの費用の比率	1.47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.24%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.24%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 売買及び取引の状況

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

### 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米ドル建 ルクセンブルグ籍	イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	千口	千米ドル	千口	千米ドル
			32	700	126	2,700

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

## 利害関係人との取引状況等

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

(2020年3月9日現在)

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口 4,636	千口 4,636	千円 5,049	% 0.3
合 計	4,636	4,636	5,049	0.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

### (2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	千口 941	千口 847	千米ドル 15,956	千円 1,627,742	% 96.4
合 計	941	847	15,956	1,627,742	96.4

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

## 投資信託財産の構成

(2020年3月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	5,049	0.3
投 資 証 券	1,627,742	95.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	76,227	4.5
投 資 信 託 財 産 総 額	1,709,018	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(1,627,742千円)の投資信託財産総額(1,709,018千円)に対する比率は95.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年3月9日における邦貨換算レートは、1米ドル=102.01円です。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年3月9日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,709,018,966円
コール・ローン等	76,226,979
投資信託受益証券(評価額)	5,049,930
投資証券(評価額)	1,627,742,057
(B) 負 債	20,632,188
未 払 解 約 金	5,230,270
未 払 信 託 報 酬	14,315,551
未 払 利 息	223
そ の 他 未 払 費 用	1,086,144
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,688,386,778
元 本	2,303,092,135
次 期 繰 越 損 益 金	△ 614,705,357
(D) 受 益 権 総 口 数	2,303,092,135口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,331円

(注1) 元本の状況

期首元本額 2,541,710,656円

期中追加設定元本額 204,388,062円

期中一部解約元本額 443,006,583円

(注2) 1口当たり純資産額は0.7331円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

## 損益の状況

当期(自2019年9月10日 至2020年3月9日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 36,624円
支 払 利 息	△ 36,624
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△347,042,436
売 買 損 益	8,615,854
売 買 損 益	△355,658,290
(C) 信 託 報 酬 等	△ 15,401,695
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△362,480,755
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△199,007,617
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 53,216,985
(配 当 等 相 当 額)	( 256,617,202)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△309,834,187)
(G) 計 (D+E+F)	△614,705,357
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△614,705,357
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 53,216,985
(配 当 等 相 当 額)	( 256,617,202)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△309,834,187)
分 配 準 備 積 立 金	68,276,081
繰 越 損 益 金	△629,764,453

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程  
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(256,617,202円)および分配準備積立金(68,276,081円)より、分配対象収益は324,893,283円(10,000口当たり1,410円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## 分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

## お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ	
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	主として、フィリピンの企業の株式または株式関連証券に投資を行い、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	フィリピンで設立または上場している企業ならびにフィリピンにおいて主に事業展開を行っている企業の株式および株式関連証券	
ベンチマーク	PSEi Index (フィリピン総合指数) *1	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	管理会社	イーストスプリング・インベストメンツ (ルクセンブルグ) S.A.
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.25%	
管理費用等	年率0.25%程度	
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2007年7月2日	
決算日	毎年12月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス (1-10年債) *2	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22% (税抜0.2%)	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)	

\*1 PSEi Index (フィリピン総合指数) は、フィリピン証券取引所が公表している指数です。

\*2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J」を含む「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2018年12月31日を基準日とするAnnual Report（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

### 損益計算書及び純資産変動計算書

2018年12月31日に終了した事業年度		米ドル
<b>期初純資産</b>		<b>56,512,404</b>
<b>収益</b>		
配当金		558,991
預金利息		1,358
<b>収益合計</b>		<b>560,349</b>
<b>費用</b>		
運用報酬		243,439
管理費用		15,202
保管銀行費用		37,785
取引手数料		22,740
管理・名義書換代行事務費用		23,813
監査費用、公告・印刷費用		(4,126)
税金		5,658
役員報酬		212
その他費用		444
<b>費用合計</b>		<b>345,167</b>
<b>純投資収益（損）</b>		<b>215,182</b>
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損）		(383,572)
外国為替先渡取引に係る実現純利益（損）		(16,018)
外国為替に係る実現純利益（損）		(1,993)
<b>実現純利益（損）</b>		<b>(401,583)</b>
投資有価証券に係る未実現評価益（損）の変動額		(9,461,625)
外国為替先渡取引に係る未実現評価益（損）の変動額		(10)
外国為替に係る未実現評価益（損）の変動額		(3,484)
<b>未実現評価益（損）の純変動額</b>		<b>(9,465,119)</b>
<b>運用による純資産の純増加額（減少額）</b>		<b>(9,651,520)</b>
<b>資本金の変動</b>		
投資証券の発行		14,536,340
投資証券の解約		(14,635,205)
<b>当期の純資産の変動額</b>		<b>(9,750,385)</b>
<b>期末純資産</b>		<b>46,762,019</b>

投資有価証券明細表（2018年12月31日現在）  
（米ドル表示）

銘柄	数量	通貨	取得金額	評価金額	対純資産比率 (%)
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制ある市場 で取引されている譲渡可能な有価証券					
<b>株式</b>					
<b>Philippines</b>					
Aboitiz Equity Ventures Inc	1,523,860	PHP	2,053,191	1,593,844	3.41
Aboitiz Power Corp	990,400	PHP	821,104	661,083	1.41
ABS-CBN Holdings Corp Receipt	1,525,330	PHP	970,055	542,430	1.16
Alliance Global Group Inc	3,060,400	PHP	1,158,827	692,569	1.48
Ayala Corp	173,619	PHP	2,871,082	2,971,514	6.35
Ayala Land Inc	5,095,500	PHP	3,875,067	3,934,150	8.42
Bank of the Philippine Islands	1,290,917	PHP	2,540,521	2,307,620	4.93
BDO Unibank Inc	1,270,610	PHP	2,838,366	3,160,517	6.76
Cosco Capital Inc	764,500	PHP	97,662	97,552	0.21
DMCI Holdings Inc	2,433,750	PHP	651,007	591,487	1.26
East West Banking Corp	2,407,776	PHP	800,623	544,880	1.17
Filinvest Land Inc	24,888,826	PHP	856,955	667,362	1.43
First Gen Corp	3,165,653	PHP	1,326,286	1,202,809	2.57
First Philippine Holdings Corp	756,660	PHP	1,249,144	931,705	1.99
Globe Telecom Inc	15,505	PHP	592,646	560,226	1.20
GT Capital Holdings Inc	62,993	PHP	1,349,815	1,167,979	2.50
International Container Terminal Services Inc	587,415	PHP	1,106,164	1,117,077	2.39
JG Summit Holdings Inc	1,817,850	PHP	2,440,757	1,925,534	4.12
Jollibee Foods Corp	226,680	PHP	1,015,941	1,257,872	2.69
LT Group Inc	3,589,800	PHP	1,228,191	1,133,226	2.42
Manila Electric Co	118,140	PHP	699,776	853,726	1.83
Megaworld Corp	7,839,700	PHP	700,568	708,160	1.51
Metro Pacific Investments Corp	9,738,300	PHP	1,206,988	859,289	1.84
Metropolitan Bank & Trust Co	1,449,785	PHP	2,434,714	2,231,817	4.77
Petron Corp	541,200	PHP	95,986	79,351	0.17
PLDT Inc	71,135	PHP	3,161,398	1,521,857	3.25
Puregold Price Club Inc	409,310	PHP	382,706	334,702	0.72
Robinsons Land Corp	1,403,513	PHP	678,530	537,811	1.15
Robinsons Retail Holdings Inc	296,160	PHP	546,018	450,562	0.96
San Miguel Corp	160,050	PHP	320,055	447,416	0.96
Security Bank Corp	315,580	PHP	1,320,270	930,206	1.99
Semirara Mining & Power Corp - Class A	901,240	PHP	592,535	395,048	0.84
SM Investments Corp	261,363	PHP	3,770,080	4,560,245	9.76
SM Prime Holdings Inc	5,392,575	PHP	2,941,732	3,671,278	7.85
Universal Robina Corp	473,830	PHP	1,534,192	1,144,364	2.45
Vista Land & Lifescapes Inc	5,609,983	PHP	619,392	577,161	1.23
			50,848,344	46,364,429	99.15
<b>株式合計</b>			<b>50,848,344</b>	<b>46,364,429</b>	<b>99.15</b>
<b>投資総額</b>			<b>50,848,344</b>	<b>46,364,429</b>	<b>99.15</b>
その他資産				397,590	0.85
<b>純資産</b>				<b>46,762,019</b>	<b>100.00</b>

「イーストスプリング・フィリピン株式オープン」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2019/2/26 ～2020/2/25		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.220%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,888円です。
（投信会社）	(16)	(0.143)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	1	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	25	0.234	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 組入資産の明細

(2020年2月25日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	667,000	706,379	98.1	—	41.4	18.6	38.1
合 計	667,000	706,379	98.1	—	41.4	18.6	38.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示  
 国内（邦貨建）公社債  
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第306回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第310回 利付国債（10年）	1.4	20,000	20,020	2020/03/20
	第311回 利付国債（10年）	1.0	25,000	25,168	2020/09/20
	第313回 利付国債（10年）	0.8	50,000	50,281	2020/09/20
	第313回 利付国債（10年）	1.3	25,000	25,395	2021/03/20
	第315回 利付国債（10年）	1.2	20,000	20,365	2021/06/20
	第351回 利付国債（10年）	0.1	50,000	51,203	2028/06/20
	第354回 利付国債（10年）	0.1	59,000	60,326	2029/03/20
	第47回 利付国債（20年）	2.2	40,000	40,544	2020/09/21
	第48回 利付国債（20年）	2.5	50,000	51,101	2020/12/21
	第53回 利付国債（20年）	2.1	40,000	41,678	2021/12/20
	第60回 利付国庫債券（20年）	1.4	30,000	31,375	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	53,370	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	48,908	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	22,374	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	42,738	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	63,155	2026/03/20
第91回 利付国債（20年）	2.3	50,000	58,372	2026/09/20	
合 計			667,000	706,379	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。